



乳用牛ベストパフォーマンスの実現に向けて



滝上町の酪農情勢は、後継者不在の離農による戸数減少に伴う乳用牛の飼養頭数減少や繁殖成績の低下により、生乳生産量の減少となっていることから生産基盤の確保が課題となっています。

平成24年度より取り組んできました<土づくり・草づくり>に特化した第1ステージ「ステップ・アップ↑滝上植生改善プロジェクト」から飼養・繁殖管理を見つめ直し<牛づくり>に特化した第2ステージ「乳用牛ベストパフォーマンスプロジェクト《滝上BPP》」により、酪農・畜産収益力の向上の実現を図る。

Why <どうして> 課題

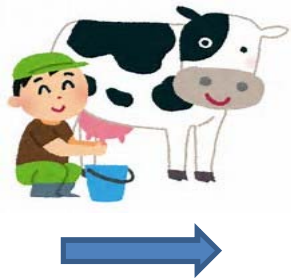
平成24年度19,871 tをピークに平成27年度19,261 tに落ち込んだ主たる要因は、疾病による廃用や除籍(経産牛頭数の減少)・乳房炎・繁殖遅延や受胎率の低下・分娩事故や子牛の事故が減らない等の顕著な問題が想定され結果として平均産次数 2.5 産・除籍産次数 3.0産となり全道平均を下回る状況で推移しています。

そこで改善支援チームを立ち上げ乳検データをはじめとして様々なデータを解析し問題点の明確化により長命連産性の高い牛づくりによる、乳牛の能力を最大限に引き出すベストパフォーマンス酪農に取り組む。

Begin <はじめる> 取組

- ①後継牛の確保
- ②経産牛の供用期間の延長
- ③飼養・繁殖管理の徹底
- ④搾乳手法の改善
- ⑤環境・施設の改善

☆酪農家の取組み・行動



Try <ためす> 行動

- ①性判別精液の活用
- ②ワクチンの接種
- ③定期的な繁殖検診
- ④初回授精開始日の短縮
- ⑤検定情報の活用
- ⑥環境・施設の改修・取得

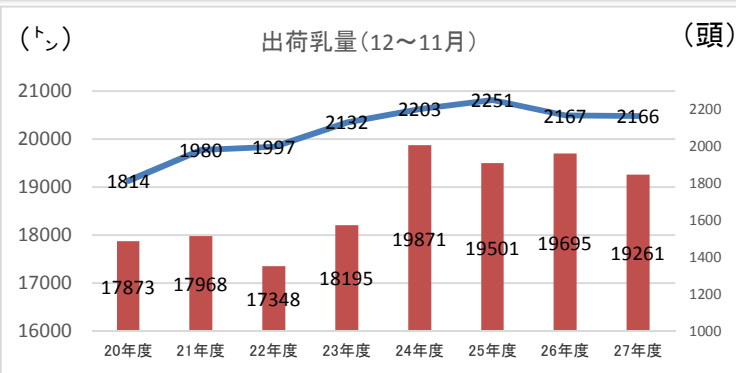
☆支援チームからの提案

地域全体での収益増
(生乳増産による収益の増加)

1,905ト×90.5円=172,400千円

Goal <せいか> Repeat <くりかえし> 効果・検証

	現状(H26)	目標(H32)	最終目標
①生乳生産量の増加	19,695 ト	⇒ 21,600 ト	(22,500 ト)
②飼養頭数の増加	2,167 頭	⇒ 2,365 頭	(2,650 頭)
③平均産次数産	2.5 産	⇒ 2.7 産	(3.0 産)
④除籍産次数	3.0 産	⇒ 3.5 産	(4.0 産)



滝上町農業推進協議会

<BPP改善支援対策チーム>

- ☆滝上町酪農組合
- ☆オホーツクNOSAI
- ☆道総研 根釧農業試験場
- ☆網走地区農業改良普及センター
- ☆北海道酪農検定検査協会
- ☆滝上町農業振興公社
- ☆滝上町
- ☆帯広畜産大学
- ☆ホクレン
- ☆JAオホーツクはまなす